

安養寺報

2020.3.1 発行

春の彼岸法要

3月20日(祝) 9:00~10:00

春の彼岸法要を本堂と涅槃堂^{ねはんどう}にて執り行います。法要は自由参加となっております。本堂と涅槃堂は9:00~17:00に自由に参拝していただけます。ご家族やご親族を誘い合わせてご参拝下さい。

弘法大師と空海

西暦835年(承和2年)3月21日、真言宗の開祖である空海は、高野山で身を清めて深い禅定^{ぜんじょう}に入られ、穏やかに最期を迎えられました。真言宗では空海^{くわい}の最期を「入定^{にゅうじょう}」^{くわい}と言い慣わしています。

西暦921年(延喜21年)10月27日、醍醐天皇^{たいご}から空海に「弘法大師」^{しごう}の諡号が贈られました。弘法利生^{こうぼうりじょう}(仏教を弘め、社会に貢献する)の業績が認められたものです。現在でいえば、ノーベル賞か国民栄誉賞といったところでしょう。

実際にノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹氏も、「長い日本の歴史の中で、空海は最も万能的な天才であった。世界的なスケールで見ても、アリストテレスとか、レオナルド・ダ・ヴィンチとかいうような人よりも、むしろ幅が広い。宗教、文芸、美術、学問、技術、社会事業の各方面にわたる活動を通観すると、超人的というほかない。」などと述べています。

天皇から大師^{しごう}の諡号が贈られた僧侶は、他にも伝教大師(最澄)智証大師(円珍)^{こうぎょう}興教大師(寛鑱)^{かくぼん}など計27名いますが、「大師は弘法に奪われ、太閤は秀吉に

奪わる」という格言が示すとおり、やはり大師といえば弘法大師を思い浮かべる方が多いでしょう。

弘法大師の遺骸は「高野山奥之院」の御廟ごびょうに静かに埋葬されておりましたが、醍醐だいご天皇より弘法大師の諡号しごうを賜ったことを受け、東寺長者（当時は東寺長者が金剛峯寺座主ぶじぎすを兼任していた）観賢かんげんが御廟ごびょうを訪れて、御衣おころもを奉納したことをきっかけに、多くの参詣者が高野山奥之院を訪れるようになりました。

弘法大師空海は、その肉体は滅んだものの、その魂は深い禅定ぜんじょうにあり、現世で私たち衆生しゆじょうを見守ってくださっているという「弘法大師入定信仰」の始まりです。入定から1200年近く経った今も、御廟ごびょうの線香の香りが途断えることがありません。

また、高野山の壇上伽藍だんじょうがらんには「御影堂みえどう」と呼ばれているお堂があります。弘法大師が居住されていた僧坊がお堂として改められ、弘法大師の御影みえ（遺影）が本尊として安置されております。高野山においては、奥之院とともに最も神聖なお堂とされています。

高野山に参拝される機会があれば、奥之院だけでなく御影堂みえどうも参拝なさってください。御影堂のある聖域は「壇上伽藍だんじょうがらん」と呼ばれていて、他にも金堂こんどう（高野山全体の本堂）・御社みやしろ（丹生都比売神・狩場明神）・根本大塔こんぽんだいとう（金剛界の立体曼荼羅）・西塔さいとう（胎蔵界の立体曼荼羅）・孔雀堂くじゃくどう（国宝孔雀明王像）・国宝不動堂（国宝不動明王像・八大童子像）などたくさんのお堂があります。



令和4年 弘法大師御影供（於：安養寺）

高野山では、毎月21日に「月並御影供」、旧暦3月21日に「正御影供」の法要が執り行われています。正御影供の前夜（逮夜）には壇上伽藍が参詣者による花とろうそくで埋め尽くされ、声明や御詠歌などが奉納されます。当日には御影堂と奥之院で正御影供の法要が執行されます。

高野山真言宗播磨九区では、所属寺院14ヶ寺の取り決めとして、各寺院が7年に1度、弘法大師御影供を執り行い、所属寺院の住職が責任出席することとなっております。令和4年4月24日（旧暦3月21日に近い日曜日）には、安養寺で弘法大師御影供を執り行うことが予定されております。

また、令和4年の安養寺御影供に向けて、安養寺の裏山や境内などの環境整備事業が計画されております。すでに、安養寺奥之院の裏山や境内においては、間伐されていなかった木々を伐採し、新たに紅葉など約40本を植樹し終えております。今年の秋頃から徐々に色づき始めると思われます。安養寺にお越しの際にはどうぞご覧になってください。

今後2年間のうちに、本堂周辺、庫裏周辺、茶室周辺、墓地周辺、駐車場周辺などの草木の伐採、紅葉や広葉樹の植樹などの環境整備事業が予定されています。安養寺の境内をいつでも歩きたくなるような環境作りを進めて行きたいと考えておりますので、檀信徒の皆様にはご協力賜りますようお願い申し上げます。

それ境(環境)は心に随いて変ず。心垢るるときは則ち境濁る。

心は境を逐いて移る。境静かなるときは則ち心朗らかなり。

心境冥会して、道德玄存す。（空海）

安養寺住職 井上寛照

薬師護摩

安養寺奥之院の本尊である薬師如来は私たちの心と身体を癒して下さる仏様です。毎月8日には真言密教の秘法である薬師護摩を修法いたします。ご家族やご友人を誘い合わせてご参詣ください。

【日 時】 毎月8日 9:00～10:00

【場 所】 安養寺奥之院 薬師堂

【内 容】 無病息災、病氣平癒、身体健全、家内安全、交通安全など

【祈祷料】 志納（薬師堂の賽銭箱にご喜捨下さい）

【連絡先】 安養寺住職 井上寛照

0790-75-2044 anyojisangha@gmail.com

マインドフルネス瞑想実践会

マインドフルネス瞑想は、感情を安定させて心身の調和を取り戻すのに効果的な瞑想法です。初めての方でも無理なく取り組んでいただけます。午前のみ・午後のみ参加も可能です。

【日 時】 3/23(月) 4/13(月) 5/18(月) 10:00～17:00

【場 所】 安養寺本堂、他（事前予約が必要です）

【内 容】 法話、坐る瞑想、歩く瞑想、深くつろぎの瞑想、他

【参加費】 志納（本堂の賽銭箱にご喜捨下さい）

【連絡先】 安養寺住職 井上寛照

0790-75-2044 anyojisangha@gmail.com